

2014年2月20日
株式会社日立製作所

都市交通向け無線信号システムの国際規格認証を取得 国際安全性規格の最高安全レベル SIL 4 の RAMS 認証を欧州認証機関から取得

株式会社日立製作所(執行役社長：中西 宏明/以下、日立)は、このたび、都市交通向け無線信号システム CBTC*1の国際規格 IEEE 1474 規格に準拠し、国際安全性規格*2に完全適合した、最高安全レベル SIL 4*3 の RAMS*4 認証を、欧州認証機関から取得しました。本認証を欧州の認証機関から取得したのは日立が日本企業として初めて*5となります。

CBTC システムは、近郊列車や地下鉄、モノレールをはじめとする都市交通向けの信号システムです。無線を使用して列車の位置情報と制御情報を伝達することにより、地上の列車検知設備が不要になることから、ケーブルなどの沿線設備コストやメンテナンスコストを削減することが可能です。また、列車の位置情報をリアルタイムに把握することが可能であり、各列車の安全上必要とされる最低限の間隔を動的に保てるため、高密度運行における輸送力の向上を実現します。さらには自動運転にも対応可能です。

また、CBTC システムは、2013年6月に日立が受注したベトナムホーチミン都市交通1号線への採用が決まっており、日立は今後 CBTC システムの拡販を通して、鉄道信号システム事業をグローバルに展開していきます。

近年、海外の鉄道信号システム案件の入札において国際標準規格への準拠と、公的認証機関が発行する国際安全性規格の認証が求められており、国際規格に適合した製品の需要が高まっています。列車信号システムの国際標準規格には、都市交通向けの CBTC と、都市間交通向けの ETCS*6 があり、CBTC システムは、近郊列車や地下鉄、モノレールを中心に全世界の約 100 線区*5で採用されています。日立も 2009年2月に受注した中国・重慶市軌道交通3号線向けに CBTC を納入し、営業運転を開始した実績があります。また、日立は ETCS 規格に準拠した車上信号装置を 2013年12月に認証を欧州認証機関から取得し、製品化しました。

日立は、CBTC システムを用いた列車運行に必要な、運行管理システムおよび運行管理からの指示でポイント制御を行う連動装置*7、列車の位置を検知し間隔制御を行う ATP*8 システム、自動運転を行う ATO*9 システム、無線システムの 5 つのシステムの全てについて RAMS 認証を取得しました。特に安全上重要な ATP システムと連動装置においては、国際安全性規格の最高安全レベル SIL 4 認証を取得しています。

日立は今回の認証取得を通して世界の鉄道信号市場への事業展開を一層強化し、グローバルで鉄道システム事業の拡大を図っていきます。

■お客様お問い合わせ先

株式会社日立製作所 交通システム社 輸送システム本部 信号システム部 [担当:河合]

〒101-8608 東京都千代田区外神田一丁目 18 番 13 号

電話: 03-4564-4102

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
